

× かけがえのない小学生時代を、いっしょに！ 思いっきり！

朝日おとうさん新聞

otonto JOURNAL

2015
January
ISSUE



オトントジャーナル

〒104-8433 東京都中央区築地5-3-2
朝日新聞社新館9F

企画制作 朝日学生新聞社広告部/
otonto(パラドックス)/
Taiji Fuse Design

● ご注意お問い合わせは

電話 03-3545-5226
ファクス 03-3545-0978
e-mail otonto@asagaku.co.jp

● 文・鈴木祐介 ● 写真・有岡志信

【特集】 雪山で、大きくなれ。

最近、ちょっとスポーツに興味が出てきた子どもたち。冬といえば、雪山。大きな自然の中で思い切りカラダを動かしたら、なんとなく大きな人間に育ちそうだ。というわけで、スキーにチャレンジしようと思い立った編集部の鈴木祐介(35)はたして、6歳の息子と4歳の娘は滑れるのか。いや、もっと言えば、15年ぶりの私(大学以来行ってないのです)は滑れるのか。



鈴木家。親は15年ぶりのスキー。子どもたちは、そもそも雪山が初体験



ふかふかの雪は転ぶのも楽しい

不安はありつつも、「行ってしまえばなんとかなるだろう!」ということで、北海道へ。「星野リゾートリゾナーレトマム」にJAL SKIツアーを利用してお邪魔してきました。雪を見たとき、テンションが上がった息子。いきなり雪合戦をはじめる娘。ひさしぶりのスキーに父もワクワクしつつ、雪山へ。「ちゃんとストレッチしないとケガするぞ」と子どもたちに、そして自分に言いかせて準備体操。まずは初心者コースのゲレンデ「ニボタウン」にチャレンジしました。が、そういえば、どうやって教えたらいんだろう?と悩む私。まあ、獅

子は子を谷に落とすと言うじゃないか、と言いつつ、とりあえずスキー板を八の字にすることだけ教えて滑らせてみることにしました。

すると、案外滑れるんですね。ただ、よく考えたら止まり方を教えていませんでした(ごめん、息子よ)。

でも、転んで雪まみれになることも楽しいようで、「もう1回!」と笑顔。そのやる気を見て、これはちゃんと教えたほうがいいなと思い直し、スクールに参加。「チョッカリ大魔神のスキー魔界学校」に入学です。直滑降が大好きという大魔神の手下が、魔界流(!?)で教えてくれるのですが、子どもの吸収力はすごい! 正し

い八の字や曲がり方など、どんどん学びます。ついつい、子どもたちの成長に顔がほころんでしまいました。

たどりついた人だけが、食べられるご褒美

それにしても、雪山って、いろんな楽しみ方があるんですね。どうやら妻は、クロスカントリーが気に入ったよう。競技スキーのイメージが強かったのですが、実はとっても気軽にできちゃいます。自分のペースで好きな斜面を登り、滑ればいい。急斜面を降りることもあるスキーと違い、「これなら怖くない」という女性も多いのだとか。ちなみに今回は、「クロス



時には手をつないで引っぱったり、支えたり。ゴールを目指して、ちょっとした一体感が



まずはスキー板に正しく乗るところから、カニ歩き、ボーゲン、ターンなど。チョッカリ大魔神の手下が、遊びながら教えてくれます

チョッカリ大魔神

カントリースキーで朝食を」というプログラムに参加。まだリフトが動く前の朝早く、誰もいないゲレンデをすべって、中腹にあるマウントカフェ「ラブ」をめざします。そこには、たどりついた人だけが食べられる朝食が! 自家製のパンやヨーグルトが絶品でした。ここ「ラブ」は夜になるとナイトクルージングも開催しています。スノーモービルに引かれたソリにのり、ゲレンデを疾走するのが気持ちいい! 木々の間のけもの道を抜ける感じは、息子いわく「ジェットコースターみたい!」です。

氷のグラスで、カンパイ!

リゾート内にある「アイスビレッジ」は、氷を題材にしたテーマパーク。子どもたちのお気に入り、氷の滑り台。あなどるなかれ。氷ですから、けっこうスピードがでます。父としては「氷のバー」でしょうか。大人になったら、子どもたちと一緒にバーに行きたいと思っていたので、そんな将来を想像しつつ、氷のグラスでカンパイしました。「氷のカフェ」では、氷のイスに座ってチーズフォンデュ。「氷の学校」では空から降ってくる雪をつかまえて、雪の結晶レプリカ作りを楽しみました。「この結晶はキレイ!」「これは壊れてる…」と、夢中になって探す子どもたち。終わったあとも、帽子やウェアにくっついた雪を見ては、結晶づくりをしていました。最近ちまたでは「スキープーム再来?」なんて言われていますし、この冬は家族で雪山に出かけてみてはいかがでしょう。



ナイトクルージングの後は、ラクレットを「いただきます!」。焼いたお肉や野菜にチーズをかけて、わいわいと



テント住宅「コタ」で、パウムクーベンづくり! 大きいのもあれば、きれいなカタチもある。性格がでますね(笑)



スノーモービルに引かれて、雪の上を疾走するラフティング。水しぶきならぬ、雪しぶきを受けて、爽快でした



氷に囲まれた店内には、氷のバーカウンターが! 氷のグラスで、子どもたちとカンパイ!

<取材協力>
星野リゾート「リゾナーレトマム」



学生以来、スキーもスノーボードもすっかりご無沙汰という方。今までやったことがないという方。どちらも楽しめるアクティビティが豊富です。ホテルは全室100㎡以上というオールスイートで、ジャグジーやサウナも部屋についており、ゆったりカラダを癒やせます。「ママを楽んにする」をテーマに、ママをサポートするサービスが充実しています。

〒079-2204
北海道勇払郡占冠村字中トマム
tel: 0167-58-1145
http://www.risonare-tomamu.com/
※アクティビティはいずれも有料。事前予約が必要です。



JAL x 星野リゾート
「日本旅プロジェクト」

今回は、こちらの「スノーリゾートを楽しむ日本旅」を利用して家族で雪山を体験してきました。

http://www.jal.co.jp/tabi/special/pickup/tabi_project/